

社説を重ね十一月一日より正令の削土を容認被承」。

御心の意業の圖の難想内に樹舎を重ね更に平日午前八時より宿舎に入り工場主と主計相異不思の併陥である削土の廻せる誰かせら回るかがのトニ十日午前十時起始おこひの陳拂を此處申す多め然令丁貢賤一時削土の営業をめ「六次工場開土三十日十日工場主を求まつて」。正令の削土を承認されどのう心坐工體實立業者等の苦難解消を心置工の要求を察ひて心坐工のやの貢賤二

意業參照書 八 俗

意業參照書 二十力公四二一各

輸 売 同常憑用書

發生日 朝昧八半十月二十日

名古屋市南區西古渡町中島

朝昧八半十月二十日

金城製塗所 始始婦の持

金城製塗所 大事務

名古屋出張會社 大事務

大正令丁貢賤

常務理事

事務所

在地

名古屋

市南

区西

古渡

町中島

一

二

三

四

五

六

七

八

九

十

事務員

二名

(婦人)

一

名

(女婦人)

二

名

(女婦人)

三

名

(女婦人)

四

名

(女婦人)

五

名

事務員

一人

(婦人)

一

名

(女婦人)

二

名

(女婦人)

三

名

(女婦人)

四

名

(女婦人)

五

名

期間 自十月廿日 至十一月廿日

(協調會勞働課)

5239

原因 職工李英浩ハ鮮人ノ年工十名、監督地位ニアリ本月十七日夕年工ノ
賃銀ニ割値上要求ヲ受ケ、事業主ニ交渉、結果一割又分一値上承認ヲ得
タルテ以テ成年工ノ値上ヲモ期シ、職工後藤太郎又六名ト年工ノ加減結果
本廿二十九年前之時事業ニ付レ即時賃銀ニ割値上方要求(口頭)ヲナシ